

# 施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の取組へ～

## ①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画 の位置づけ	まちづくり分野	ぎょうせい分野	担当課	財産監理課・税務課			
	政策分野	行政運営・市民協働	課長名	奥村裕昭・柳田さゆり			
	施策	<b>22 健全な財政運営の推進</b>		重点施策の該当	2019	-	2020
施策の目的	対象	市の財政(市役所)	意図	安定した財政運営を行う			

### 施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の( )書きは当初見込み値)				最終目標値	
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値	
財政力指数(%)	0.27	0.27	0.27	0.27 (0.28)	0.29	0.29	
経常収支比率(%)	94.7	91.1	93.5	92.0 (92.0)	91.5	91.0	
将来負担比率(%)	58.0	45.7	45.9	22.8 (40.0)	35.0	30.0	
実質公債費比率(%)	8.8	9.2	9.4	9.8 (10.50)	10.70	10.30	

### 市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
88.8	31.6	87.8	22.0	87.5	20.8				
重要度DI	満足度DI								
88.1	-14.2	87.0	-11.4	86.0	-12.5				

### 施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連 戦略 No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移(下段の( )書きは当初見込み値)				最終目標値	
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値	
財源の確保		市税収納率(%)	94.51	95.43	95.46	96.53 (95.25)	95.50	95.75	
財源の確保		国保税収納率(%)	83.08	84.17	84.25	85.02 (83.75)	84.00	84.25	
予算の適正な執行と管理		補正予算額(臨時・義務的経費を除く)の割合(%)	-	12.0	2.1	1.2 (10.0)	1.0 (9.0)	5.0	
予算の適正な執行と管理		経常収支比率(%)	94.7	91.1	93.5	92.0 (92.0)	91.5	91.0	
予算の適正な執行と管理		将来負担比率(%)	58.0	45.7	45.9	22.8 (40.0)	35.0	30.0	

## ②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応		
[税務課] 基本事業No.73	・人口減少や高齢化により市税等の調定額は減少傾向にあるが、公平な徴収体制の強化により収納率は上昇傾向にある。 ・滞納者への滞納処分の適正な執行を求める意見も多く、税務課職員としての資質を高め、財源確保に努めている。	
[財産監理課] 基本事業No.74	・社会保障に資する扶助費の増大や近年行った大型普通建設事業による公債費(元利償還金)増など、健全な財政運営を推進する上で、厳しい環境下に置かれている状況は、依然として変わらない。	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題		
	成果	現状・課題
[税務課] 基本事業No.73	・収納率を向上させるために、効果的な収納体制の整備(財産調査、搜索等)を実施した。 ・2019年度からPayB(リアルタイム口座引落しサービス)を導入し、新たな納付環境の拡充を図った。	・厳しい経済状況の中で、自主財源の大半を占める市税等の確保は最優先課題である。そのためには、市民に信頼される税務行政を目指して、適正かつ公平な賦課徴収を行うことが大事である。 ・来年度は、新型コロナウイルス感染症影響への特例措置をしっかりと理解し、市民対応をしていかなければならない。
[財産監理課] 基本事業No.74	・令和元年度における予算編成(令和2年度予算)において、第6次長期振興計画実施計画計上事業(普通建設事業において承認され要求されたもの)全てを予算化し、計画と予算の連動を図ることができた。また、新たな行政評価の取り組みにおいて、評価と予算の連動(事中評価及び翌年度経費入力)を図り、事務の軽減化が図られた。	・人口減少等による税収の減少、少子高齢化に伴う社会保障などの扶助費の増大が見込まれている。また、公共施設の老朽化に伴う大規模修繕など、歳入の減少・経常経費の増・公債費の増が見込まれる。予算編成における施策別枠配分について、新たな手法を検討しなければならない。

施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の実行へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)	
継続・現状維持	[税務課] 基本事業No.73	・市民負担の公平性の観点から、滞納を未然に防止するとともに滞納整理事務の効果的かつ効率的な遂行と各関係機関との連携・協力体制の構築を図っていく。
継続・現状維持	[財産監理課] 基本事業No.74	・新たな行政評価の仕組みを活用し、評価を根拠とした予算配分の選択と集中を図る。また、決算時においては、長期振興計画実施計画計上事業を主な事業とし、行政評価との連動による「主要施策の成果説明書」の作成を行う。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)	
継続・現状維持	[総務企画部会] ○施策担当課の記載する方向性のとおり。	
継続・現状維持	[市民福祉部会] ○施策担当課の記載する方向性のとおり。	